

ドーム型テントの立て方

テント完成（タフドーム）



テント内にウレタンや毛布を敷いて快適に過ごすことができます！！

テント備品 1 式

テント本体	1	ペグ(大)	6
フライシート	1	ペグ(小)	14
メインポール	1	ハンマー	2
フロントポール	1	たわし	2
リアバイザーポール	1	ほうき・ちりとり	2



テントの設営方法(タフドーム)

1 テントの備品を確認し、設営場所を決める

テントを設営する位置を決め、整地します。
そこに「すのこ」を6枚運び並べます。



2 テント本体を広げて、入口を確認する

すのこの上にテント本体を広げます。
入口を決め、空気が入りやすいように、前後の
ドアファスナーを一部開けます。



3 ポールを伸ばし、スリーブに通す

メインポール (2本) を伸ばし、それぞれ
スリーブに通します。



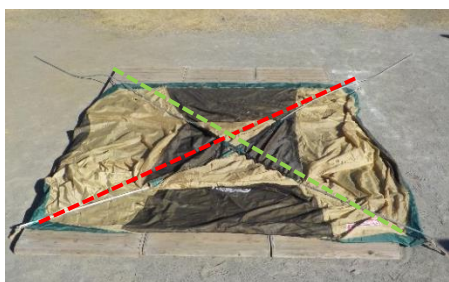
4 メインポールをアシストクリップに差し込む

メインポール 2 本の側の端を、テント本体の後ろ
端にあるクリップにそれぞれ差し込みます。



5 メインポールをアシストクリップに差し込む

入口側のスリーブの端を持ち、ポールを押し入れながらテント本体を持ち上げます。テントが立ち上がった
ら、ポールをクリップに差し込みます。



6 フックをつける

テント本体についているフックを、ポールにかけて固定する



7 フロントポールを伸ばし、アシストクリップに差し込む

フロントポール（１本）を伸ばし、テント本体にあるアシストクリップに差し込みます。



8 リアバイザーポールをつける

リアバイザーポールを伸ばし、テント本体につける。



9 チャックをしめる

テント本体の前後のファスナーを閉めます。



10 ペグを打ち TENT を固定する

設営位置を決め、ペグでTENTについているループ（6カ所）を固定します。
※風上から順に対角線で打ち込みます。



11 フライシートにポールを通す

フライシートにポールを通します。



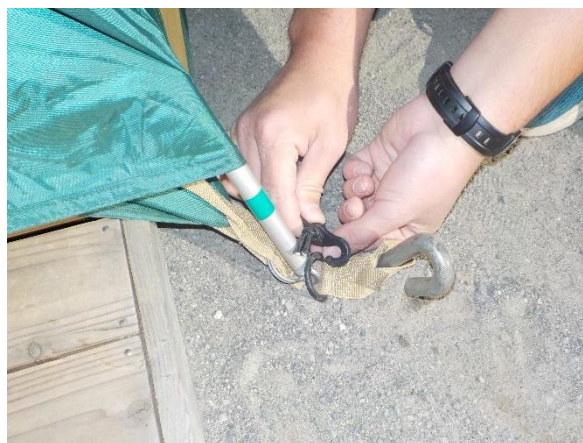
12 フライシートをかける

TENT本体にフライシートをかけます。



13 フライシートのフックをTENT本体にかける

フライシート端にあるフックを、TENT本体の四隅についているDリングにかけます。



14 ファスナーテープをポールにつける

フライシート内側にあるファスナーテープをそれぞれのポールにとめて固定します。



15 フライシートのフロント・リア側を固定

フライシートのフロント側（2カ所）・リア側（1カ所）にあるループ（輪っか）を張り出し、ペグで固定します。



16 フライシートのサイド側を固定

サイドループを外側に引っ張り、テント本体から十分離れた場所でペグを固定します。



17 状況に応じてストームガードのロープを張る

雨風が強いときは、安全性を高めることができます。



テントの撤収方法(タフドーム)

1 ロープ、ファスナーテープ、ループを外す

全てのロープと内側にある面のファスナーテープ、テント本体の固定ペグにかけてあるループを全て外します。

フライシートをテント本体から完全に取り外します。

注1) フライシートやテント本体を濡れたままで収納すると、防水効果が著しく損なわれるため、使用後は、十分に乾かしてから収納してください。

注2) フライシートやテント本体を汚れたまま収納すると、劣化が進むため、使用後は、汚れを落としてから収納してください。※特にファスナー部分は修理ができません。

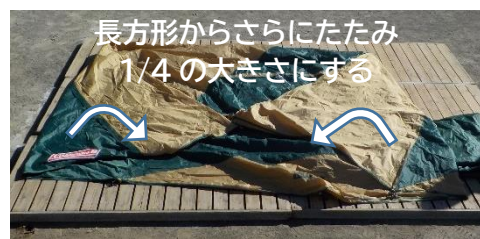
2-1 フライシートをたたむ

フライシートを広げ、前後の屋根の四隅を持ち、中央に折りたたみながら半分にします。



2-2 フライシートをたたむ

両端を中へたたみ、長方形にします。さらに内側にたたみ、キャリーバックに入る大きさにします。



3 テント本体をたたむ

ポールを全て外し、空気を逃がすため、前後のファスナーの下部をあらかじめ開けておきます。

四隅をきれいに広げ、四角形になった状態で、おりたたみます。

テント本体もキャリーバックに入る大きさにします。

4 ポールを折りたたみ、ペグを片付ける

ポールを全て折りたたみ、収納ケースにいれます。

ペグは、土を落としきれいに洗い、乾いたら収納ケースに戻します。

フライシート、テント本体、ポールを収納袋に入れます。ペグは乾いたものをバケツに入れます。それぞれ、数の不足がなければ返却します。